

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 1 区分
【発行日】 令和 6 年 6 月 18 日 (2024.6.18)

【国際公開番号】 WO2024/013971
【出願番号】 特願 2023-520290 (P2023-520290)
【国際特許分類】
B 0 1 D 53/04 (2006.01)
C 0 1 B 32/50 (2017.01)
【F I】
B 0 1 D 53/04
C 0 1 B 32/50

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 4 月 3 日 (2023.4.3)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

送風機と、
前記送風機の気流を受ける位置で、二酸化炭素を吸着可能な吸着剤を保持する保持部と

、
前記保持部に前記吸着剤が保持されていることを検知するセンサと、
前記送風機を制御する制御部と、を備え、

前記送風機は、ヒートポンプ装置の室外機が有するファンであり、

前記制御部は、前記ヒートポンプ装置が稼働していない状態で、前記保持部に前記吸着剤が保持されていることを前記センサが検知したときに、前記送風機を駆動させる、二酸化炭素回収システム。

30

【請求項 2】

前記保持部は、通気性を有する容器である、請求項 1 に記載の二酸化炭素回収システム。

【請求項 3】

送風機と、

前記送風機の気流を受ける位置で、二酸化炭素を吸着可能な吸着剤を保持する保持部と、
前記保持部に前記吸着剤が保持されていることを検知するセンサと、

前記送風機を制御する制御部と、を備え、

前記送風機は、ヒートポンプ装置の室外機が有するファンであり、

40

前記制御部は、前記送風機が停止している状態で、前記保持部に前記吸着剤が保持されていることを前記センサが検知したときに、前記送風機を駆動させ、

前記制御部は、前記ヒートポンプ装置が稼働している状態で、前記保持部に前記吸着剤が保持されていることを前記センサが検知したときに、前記送風機の回転数を増加させる、二酸化炭素回収システム。

【請求項 4】

前記センサは、前記保持部に前記吸着剤が保持されていることを重量で検知し、

前記制御部は、前記センサが検知した重量の増加量に基づいて、前記吸着剤の交換時期を報知させる報知信号を出力する、請求項 1 に記載の二酸化炭素回収システム。

【請求項 5】

50

前記センサは、光学式センサである、請求項 1 または 2 に記載の二酸化炭素回収システム。

【請求項 6】

前記送風機の回転数を計測する回転数センサをさらに備え、

前記制御部は、前記センサによる検知結果と、前記回転数センサによる計測結果と、に基づき、前記吸着剤を通過した累積風量を試算し、前記累積風量に基づいて、前記吸着剤の交換時期を報知させる報知信号を出力する、請求項 1 に記載の二酸化炭素回収システム。

【請求項 7】

前記吸着剤を通過する気流の風速を計測する風速センサをさらに備え、

前記制御部は、前記センサによる検知結果と、前記風速センサによる計測結果と、に基づき、前記吸着剤を通過した累積風量を試算し、前記累積風量に基づいて、前記吸着剤の交換時期を報知させる報知信号を出力する、請求項 1 に記載の二酸化炭素回収システム。

【請求項 8】

前記送風機が有するモータの消費電力を計測する電力計をさらに備え、

前記制御部は、前記センサによる検知結果と、前記電力計による計測結果と、に基づき、前記吸着剤を通過した累積風量を試算し、前記累積風量に基づいて、前記吸着剤の交換時期を報知させる報知信号を出力する、請求項 1 に記載の二酸化炭素回収システム。

【請求項 9】

外気の温度を計測する外気温度センサと、

前記吸着剤の表面温度を計測する表面温度センサと、をさらに備え、

前記制御部は、前記外気の温度と前記吸着剤の表面温度との差分の変化に基づいて、前記吸着剤の交換時期を報知させる報知信号を出力する、請求項 1 に記載の二酸化炭素回収システム。

【請求項 10】

通信器をさらに備え、

前記通信器は、前記制御部が出力した前記報知信号を、携帯端末、サーバ装置、および前記ヒートポンプ装置の操作部のうち少なくとも 1 つに伝達する、請求項 4、6 から 9 のいずれか 1 項に記載の二酸化炭素回収システム。

10

20

30

40

50